



令和5年度 市長と語る会

笑顔あふれる
日本一住みたいまち境港

【資料構成】

令和5年度は、次の4点について重点的に取り組みます。

I 地域資源を活用した本格的な賑わいの回復

- 観光の振興
- 充実が図られた市内施設
- 快適な生活環境づくり

II 安心して安全な市民生活を守るための環境づくり

- 防災対策
- 子育て支援・学校教育の推進
- 健康づくりの推進による健康寿命の延伸
- 高齢者福祉の充実

III 「DXとGX」二つの変革の推進

- DX(デジタルトランスフォーメーション)による、未来につけを回さないまちづくり
- 脱炭素社会の実現や環境対策を進めるGX(グリーントランスフォーメーション)

IV 中海・宍道湖・大山圏域の一体的な発展と連携強化

- 圏域を8の字で結ぶ高規格道路ネットワークの整備による
「あたかも一つのまち」のような生活圏の形成に向けた取り組み

地域資源を活用した
本格的な賑わいの回復

観光の振興

《水木しげるロード》

- 7月で誕生から30周年の節目
- 秋には映画「ゲゲゲの鬼太郎」の公開、「悪魔くん」のオンデマンド配信予定

《水木しげる記念館》

- 約1年間休館し、現地での建て替えによる大規模リニューアルを実施
- 「水木先生が歩んだ百年を継承し、次の百年へ想いをつなげる文化観光創造拠点」の整備をめざす
- 令和6年4月オープン予定

《空港・クルーズ船》

- クルーズ船は28回寄港予定
- 台湾・ソウルからのインバウンドチャーター便の運航
- 7年ぶりに羽田便の通年6便化



*イメージパース図

総事業費 合計 約9億8,000万円
→国庫補助金等を除いた額を水木プロダクションが記念館の入館料を原資として20年間かけて市に支払い。その他、修繕積立金として年額1,000万円も市に寄附。



充実が図られた市内施設

《境港市民交流センター（みなとテラス）》



〔 総事業費 約52億円
→うち国費約33億円 〕



《水産関連施設》



H26年度から始まった漁港・市場整備事業はR7年度で全て完了予定



快適な生活環境づくり

3つの公園をリニューアル整備

境中央公園



令和7年春完成予定

「みなとテラス」と一体的に活用が可能で、誰もが利用しやすい「インクルーシブ公園」として整備

バスケット、スケートボード等やイベント、災害時の避難に活用ができる屋根付き広場、防災備蓄倉庫、駐車場等を整備



水木しげる先生の漫画に登場する妖怪をモチーフにした遊具を設置するなど、様々な人が訪れ交流する広場を整備

竜ヶ山公園周辺(球場南側)



 安心して安全な市民生活を
守るための環境づくり

防災対策

『防災を“自分ごと”として、日頃から災害に備える意識をもっていただけるよう防災対策に努めて参ります』

【啓発活動（防災意識の高揚に向けて）】

- 出前説明会（随時）、講演会の実施
- 10月6日「境港市家族防災会議の日」

【地域防災力の強化】

消防団員募集中!!

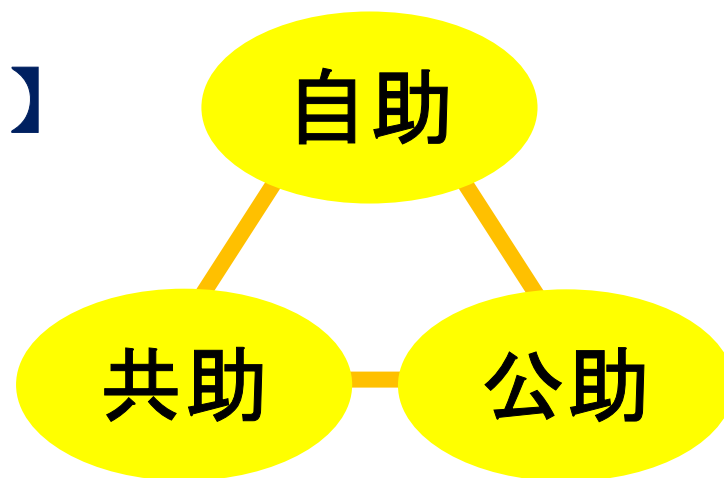
- 地域防災の中核である消防団の活動支援及び団員確保
- 自主防災組織の資機材整備・防災士の資格取得支援

【防災訓練（実効性の確保に向けて）】

- 原子力防災訓練の実施（10～11月）

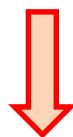
【原子力災害発生時の避難行動計画 地区別パンフレット（69通り）】

- 地区別パンフレット全戸配布
（1月市報折込）



【浸水対策】

市内全域を対象として、
ハード・ソフト両面から
総合的・計画的な
浸水対策を実施するため、
令和4年度から
「雨水管理総合計画」の
策定作業を進めています。
(令和7年度 計画策定予定)

 令和7年度内水ハザードマップ
作成・配布予定

令和9年度から
浸水対策工事に着手予定
(令和3年7月豪雨で被害の大きかった外江地区で
令和4年度から浸水対策を一部実施中)



妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない総合的な支援を更に充実

《出産・子育て応援事業（令和5年1月から開始）》

●経済的支援と伴走型相談支援を一体的に実施

- ◇妊娠届時5万円・出産届時5万円を支給
- ◇対象世代の多くが利用しているLINEを活用し、訪問、電話相談に加え、オンライン面談やチャット機能による24時間相談受付などを行うなど、より相談しやすい環境を整備
- ◇出産・子育てに関連する情報発信を充実

《0歳児から就学前までの一貫保育の実現に向けた 公立保育園リニューアル事業》

●防衛省の補助金を活用して、公立保育園3園をリニューアル



《不妊治療や不育治療に加え、今年度から新たな取り組み》

●将来、子どもを産み育てることを望む人への経済的支援

- ◇小児から若年成人世代までのがん患者等に対し、妊娠できる可能性を残すための治療等をがん治療前に行った際の費用を助成

《教育環境の充実》

- 特別支援コーディネーターの増員（支援が必要な子どもの個別最適な学びの環境づくり）
- 小学校トイレの改修（洋式化、床面ドライ化、男女の間仕切り設置、みんなのトイレ設置）

健康づくりの推進による健康寿命の延伸

生活習慣や食生活改善に向けてアドバイス
一人ひとりが自ら健康づくりに取り組める環境を整える

《今年度からの新たな取り組み》

●高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業

- ◇ひとりでも多くの高齢者に長寿健診を受診していただく
- ◇健診結果からフレイル状態になりやすい人を見つけ、フレイル対策事業につなげる
- ◇健診結果を用い、高齢者の疾病や生活習慣病の重症化を予防する
- ◇健診や受診歴のない健康状態不明者に対し、保健師等が家庭訪問等を実施する
- ◇気軽に健康相談や栄養相談ができる場を開設する

●こころとからだの健康事業

「命の学習」を通し、命の大切さを学び、また、がんの知識や予防接種、健診等、自分の体を守る方法を学ぶ等、小学校高学年の児童を対象とした授業を実施する

●食育SAT（サッと）システム導入

食事！食分を簡単チェック！
カロリー・栄養価・バランスが
すぐに分かる！

①フードモデルから
食べたものを選んで



③栄養バランス
がサッと分かる

②センサーに
乗せるだけ

フードモデルを
乗せ換えて指導！
瞬時に計算

高齡者福祉の充実

高齡者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるまちづくり

健康寿命の延伸

- ＜社会参加＞ 補聴器購入費の助成
- ＜運動＞ いきいき百歳体操等の実施・普及・啓発
- ＜栄養＞ 低栄養の予防に関する講話等
- フレイルサポーターの養成・フレイルチェックの実施・ハイリスク者のフォロー体制づくり

認知症対策

- 幅広い年代の認知症サポーターを養成
- 「おれんじカフェさかいみなど」の開催
- 認知症本人や家族の支援（本人ミーティング、家族のつどい等）
- 認知症予防自主サークルの活動支援
- 認知高齢者等の事前登録制度

地域包括ケア体制の構築

- 地域ケア会議で生活課題の解決策等を検討 [東京大学高齢社会総合研究機構：飯島勝矢監修予防ハンドブックより]
- 高齢者見守り体制の構築・普及
- 生活支援サービス事業（ゴミ出し、軽作業、買い物支援）による支え合い活動の支援



さまざまなご相談に応じます。お気軽にご連絡ください。

高齢者に関する総合相談窓口 **「境港市地域包括支援センター」**

（市役所本庁舎1階 電話0859-47-1131）



「DXとGX」 二つの変革の推進



DX（デジタルトランスフォーメーション）による、 未来につけを回さないまちづくり

～「市民」「事業者」「職員」みんなが笑顔になる市役所を目指して～

＜＜境港市みんなが笑顔になるデジタル市役所計画（境港市DX推進計画）＞＞

● 2つの基本方針

【基本方針① 利便性の向上】

市民一人ひとりが、
自分にあった方法で行政サービスを利用できる、
「みんなが笑顔 になる市役所」を目指します。

書かない窓口
(スマート窓口)

行かない窓口
(オンライン申請)

迷わない窓口
(ワンストップ窓口)



【基本方針② 業務の効率化】

職員がDXを「自分ごと」として捉え、
主体的に改革を実行でき、働き方を変えて
いける環境を目指すために、ペーパーレス化等を進め、
業務の効率化を図っていきます。

デジタルに
適した環境

ペーパーレスな
環境

柔軟な働き方が
できる環境



【計画期間】

令和5年

令和6年

令和7年

令和8年

社会情勢、市民ニーズの変化に対応できるよう、適宜見直しを実施。



脱炭素社会の実現や環境対策を進める

G X (グリーントランスフォーメーション)

【脱炭素社会の実現】

- ・ゼロカーボンシティ宣言（令和3年2月）
→ 2050年温室効果ガス排出実質ゼロ
- ・脱炭素先行地域づくり事業
→ 太陽光発電による公共施設の脱炭素化
- ・ブルーカーボン調査研究
→ 海藻などによる二酸化炭素吸収

【海や海辺の環境を守る取り組み】

- ・海浜清掃
→ ビーチクリーナー、ボランティア清掃、マイクロプラスチックの回収
- ・川ごみ回収
→ 市内3河川でネットフェンスによるごみの回収

【食品ロス削減・ごみの減量化】

- ・本市のごみの状況 → 手つかず食品や食べ残し等：40%、
資源化可能な紙類：15%
- ・ごみ減量化目標 令和9年度の年間ごみ排出量を
令和3年度と比較して約800トン削減
→ 実現には1人1日30グラム（たまごMサイズ半分）削減
- ・生ごみの減量化、古紙類の分別の徹底 → 出前講座、コンポスト利用の促進



中海・宍道湖・大山圏域の
一体的な発展と連携強化



圏域を8の字で結ぶ高規格道路ネットワークの整備による 「あたかも一つのまち」のような生活圏の形成に向けた取り組み

将 来

圏域内を「8の字」に結ぶ高規格道路ネットワークが整備されると・・・



圏域共有の財産「漁港・港湾・空港の3つの港」
の機能が十分に引き出され、

「ひと」や「もの」の流れが
一層活発になり・・・

様々な業種や企業が
通勤圏域内になり・・・

「産業振興」「企業誘致」
「広域観光」など
ストック効果を生み出す

圏域人口60万人
「あたかも一つのまち」
のような生活圏を形成

特に、米子と境港間の高規格道路早期事業化に向け、
引き続き圏域一体となって国に強く働きかけてまいります。

国土交通省中国地方整備局の令和5年度予算概要に、
「米子・境港間の機能軸については、社会情勢の変化を踏まえ、地域や交通
の課題の整理を関係自治体と連携して実施する」という方針が、平成18年の
事業凍結以後、初めて明記された。